

表面↑天



日本財団 海と日本 PROJECT
 さまざまな形で暮らしを支え、ときに心の安らぎを与えてくれる海についての取り組みです。海が抱える問題を考えながら、海をもっと好きになってくれることを目的に、日本財団が全国で推進しています。「岡山県の海を守る隊」は海と日本プロジェクトの一環として実施しました。



おかやま里海づくり調査団が選んだ

前浜もんおにぎり

- ハモの天ぷら**
ハモの繊細な味と独特の食感を定常の天ぷらで味わって。
- クロダイのカラレマヨ**
クロダイのベーストをスパイスなカラレマヨに。白身魚料理の新提案。
- ゲタミンチ(みそ味)**
ゲタ(シタビラメ)を甘辛く味付けした岡山のソウルフード。

↓地

裏面↑天

おかやま里海づくり調査団
 豊かな海を「つくる」とは?

豊かな海を「つくる」とは?
 活動で学んだことをまとめました

豊かな海とはどんな場所ですか?

- 生き物の種類が多くて、数もたくさんいる海
- 干潟やアマモ場など、生き物が安心して卵を産む場所がある海
- 生態系ピラミッドが大きくてきれいな三角形になっている海
- 魚の発育段階にあわせて心地よく暮らすことのできる場所がある海

将来、自分たちが岡山の海を守るためにしたいことは?

- いろいろな人に魚のおいしさや海の環境について楽しく伝えていく。
- STOP地球温暖化! CO2を減らす努力をする。
- えさ場、かくれ場、産み場など、魚の種類に合わせて住みやすい場所を作る。
- 魚礁づくりやアマモ場再生のイベントに参加する。

30年後の瀬戸内海はどんな海であってほしいですか?

- 今の魚の数を減らす、増やして、豊かでゴミの少ない、世界にほこれる海。
- いろいろな魚や水草があるさみしく美しい海。
- 生き物が安心して住める場所。
- 海の生態系ピラミッドの大きい海。
- 適温で酸素が十分な海。
- 人が、魚をとるかわりに、魚たちが豊かにくらせる海を作るというふうな、魚と人が協力できている海。
- 豊か海になって魚が増えると、魚の売り上げが上がる。魚が好きの人が増えれば、海を守ろうとする人が増えていくと思う。

瀬戸内の魚の“おいしさ”をこのおにぎりで伝えます!

おかやま里海づくり調査団メンバー
 [1班] るい、けいた、げんすけ、たいが
 [2班] じる、だん、しゅん、ちはる
 [3班] はると、はるあき、りょう、ゆうと
 [4班] ちよ、あゆみ、あや、れな
 [5班] しほ、さほ、えみか、こごな
 [6班] いちか、かずさ、しおり、りんか

私たちが学んだ内容はここからチェック!

↓地